

# あすか

2018年秋号



## 敬老会で、うきうき!ニコニコ!

この二、三日、施設内のあちらこちらから、“おめでとうございます”の声、聞こえてきます。そう、9月の中旬は、“敬老週間”なのです。この時期、特養やショートステイに入所されている方も、デイサービスに通ってこられる方も、なにやら、うきうき、ニコニコ。特養の居室やご自宅で、ご家族や職員、お知り合いからの、“おめでとうございます”の挨拶に包まれていますから。

飛鳥晴山苑でも連日、敬老会が開かれてましたよ。ささやかな感謝状に満面の笑顔で感激していただき、かえって、こちらのほうが感謝するひとときでした。ある米寿(88歳)の方が、「私は学徒動員の世代で、戦争では多くの友人を亡くしました。戦後の70幾年、頭から離れたことはありません。」とのお挨拶をいただきました。“おめでとう”の裏側に、そんなお気持ちがいっぱい祈りとなって沈潜しているのです。長い年月のご苦労や深い悲しみに共感できる、私たちがでありたいと、改めて感じさせられた敬老週間でした。



## 新たな一歩、納涼祭

台風一過の8月25日(土)、第11回となる納涼祭(地域交流会)が開かれました。今年は台風が多くお天気が心配されましたが快晴に。逆に猛暑になってしまい熱中症が心配されるほどでしたが、暑さ対策と夕方からの心地よい風に救われて、無事に最後まで楽しむことができました。

恒例となった王子桜中学のブラスバンド演奏や華やかなフラダンスなどの楽しい演目にくわえ、屋台の焼きそばやヤキトリなど、ご利用者様、地域の方々と一緒に盛り上がりました。みな様、どうもありがとうございました。



植栽管理者 あい Iさん

スタッフ紹介

この8月から飛鳥晴山苑の植栽を手入れしてくださっているIさん。前職はソフトウェア。大手企業で活躍されていたが、65歳を前に退職し、植栽の修行のために2年間、職人の世界に飛び込んだという。セカンドライフをどのように過ごすかは、早い時期から考えていた。「究極的には自給自足がしたいと思って」。植物に興味を持つきっかけは、少年時代の原体験、自然に恵まれた環境で育った。高校時代は山小屋で働いたこともあるそうだ。

「花は空中に咲くべきだと思っています。風にそよぐ姿とか、背景と混じり合う姿とか、そういう景色を造りたい。それが僕にとって心地いいから」とやさしい目で植物を語る。

飛鳥の前を通る度に植物がかわいそうだなあと感じ、自ら飛び込みで植栽管理を申し出た。「自分が老後にこういう施設にお世話になったとき、花を育てたり、観たりして過ごしたいと思うんですね。だから、そんな理想の庭の試作品にしたいと思って」。

なんと飛鳥晴山苑にハーブガーデンを造りたいと考えていると話す。「香りもいいし、健康にもいいし、使えるし……。」なんだかワクワクするような企画で、期待が高まる。スタッフ紹介なのに、まさかのイニシャルと後ろ姿の写真。恥ずかしがり屋のIさんにお会いしたければ、早朝に施設まわりを散歩してください。きっと植物の話で盛り上がります。

## 高齢者の“聞こえ”、4つの特徴

ケア豆知識 22

「耳が悪いからといって、高齢者と話すことを諦めていませんか? 高齢者の難聴の特徴を知ることによって悩みが少し解消できるかも……。

電話の呼び出し音や体温計の電子音など高い周波数の音から聞こえなくなります。



小さい音は聞こえにくく、大きな音はうるさく感じる

呼びかけても反応しないので、耳元に大声

で呼んだら「うるさい」と怒られたり、テレビの音量を上げていたら、大きな音のシーンなどでびっくりさせてしまったり。

ぼやけた、割れた、歪んだ音に感じる

音に含まれる微妙な周波数の違いが判別できず、言葉の違いが分からなくなります。

「タコ焼き」を「かたやき」、



「時間」を「チカ」と聞き違えたりします。

早口は聞き取りにくくなる



内耳機能の低下が原因で、耳に入ってきた言葉の内容を認識するのに時間がかかるようになります。高齢者には少し大きめの低い声でゆっくりと、言葉を区切り、語尾をしっかり発音しながら話すことが大切なようです。

特養・便り・



季節はすっかり秋になりましたね！涼しくなり、あの暑かった夏も懐かしく感じます。今年の夏はイベントが盛りだくさんでした。毎年恒例の納涼祭では吹奏楽に和太鼓、盆踊りにフラダンス。それから模擬店での楽しいお買い物と、みな様とても良い笑顔を見せてくださいました。こちらも恒例となった敬老会。総勢27名の賀寿者の方々をみんなでお祝いしました。表彰式では嬉しさのあまり涙ぐまれるお姿も。いつまでもお元気でください。夏の終わりには花火大会！音楽に合わせて職員が花火を打ち上げ、歓声が上がりました。少し肌寒い夏の夜空の下、みな様に夏の終わりを感じていただけたようです。

ショートステイ・便り・



9月17日(月)の敬老の日の特養・ショートステイ合同での敬老会をあすかホールで行いました。今回ショートステイの利用者様では卒寿と白寿を迎えられる女性利用者様2名に賞状と記念品が贈られました。お二人ともおしゃべりが好きでいつも元気なご利用者様です。また、9月23日にはショートステイで毎年恒例の運動会を行いました。今年も紅組・白組に分かれ、玉入れ・紙相撲大会・ボール運びの3種目行い、昨年以上に白熱した運動会が繰り広げられました。暑い夏が終わり、段々涼しくなってきましたが、ショートステイではみな様に楽しんで頂きながら、心も体も温まるようなレクリエーションを企画しています。

デイサービス・便り・



2階デイサービスの新しい職員をご紹介します。

● 牧 亜希子

出産・育児で3年程現場を離れていましたが、縁あって5月中旬から働き始めました。

好きな仕事に復職でき、毎日目が回るような忙しさですが、幼稚園に通う息子が「ママ頑張ってるね」と応援してくれています。ご利用者のみな様のお役に一つでも立てるように頑張ります。

● 澤内 摩耶

7月に入職しました。明るく元気が取り柄です。ご利用者のみな様が、安心して楽しい一日を過ごしていただけるよう、お手伝いしていきたいと思えます。まだまだ不慣れなところもありますが、どうぞよろしくお願いします。



ケアパートナー・便り・



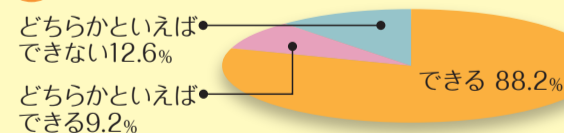
この度、「満足度調査」を実施いたしました。ここに一部の結果をご報告いたします。

平成30年8月実施  
回答者/ご本人27名・ご家族48名・その他1名、  
105名中76名回答(回答率=72.3%)

Q 居宅支援事業所「ケアパートナーあすか」はどのような理由で選びましたか(複数回答あり)

1. 自宅から近いから.....32
2. 以前より飛鳥晴山苑のサービスを利用していたから.....17
3. 区役所などで配布されている冊子を見て.....6
4. 知人に紹介された.....9
5. 老人ホームなど、関連施設があるから.....10
6. その他(地域包括や他事業所からの紹介等).....12

Q 安心してケアマネジャーに相談する事ができますか



ご家族にとって初めての介護、これから先行きの不安に対して的確な助言と、介護保険制度に関する最新の情報提供など、より専門的な提案を望まれる声を多く頂きました。また、事業所としての改善点・課題点をふまえ、これからもご意見に寄り添っていけるよう努力したいと思います。貴重なご意見ありがとうございました。

訪問看護・便り・



ステーションでは毎月2回、ミニ勉強会として学習の場を設けています。9月から認知症についての学習会がスタートしました。国の施策・新オレンジプランの基本的な考え方は、「認知症の人の意志が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指す」としています。この考えのもと、認知症チームが学習内容の検討、学習方略等を作成しました。

第1回目、認知症ミニ勉強会「認知症ケアの倫理を理解する」でした。少しずつ学習を積み重ね、ディスカッションし、目標に到達できるようみんなで研鑽していきます。



高齢者あんしんセンター・便り・



今年、5月にオープンした「ひだまりフィットネス」。65歳以上で要介護認定を受けておられない北区民の方を対象に、手軽に運動できる場所を提供したいと、当センターが企画いたしました。当苑3階の空きスペースを利用して、フィットネス器具5台を配置し、筋トレをおこなったり、椅子に座ってDVDを観ながら、北区さくら体操やお口元気体操ができるスペースです。初回体験はチラシ持参(当センターで配布中)で無料、次回より回数券(11回分で1000円)をご購入ください。

●ひだまりフィットネス開催日●.....  
毎週月、火、木、金  
10:00~12:00

高齢者あんしんセンター ☎03-3940-9175

➔ ホームページもご覧ください

<http://www.asuka-seizanen.com/>

ブログ「あすか晴れ晴れだより」も併せてどうぞ

あすか晴れ晴れだより

<http://askaseizanen.blogspot.jp/>